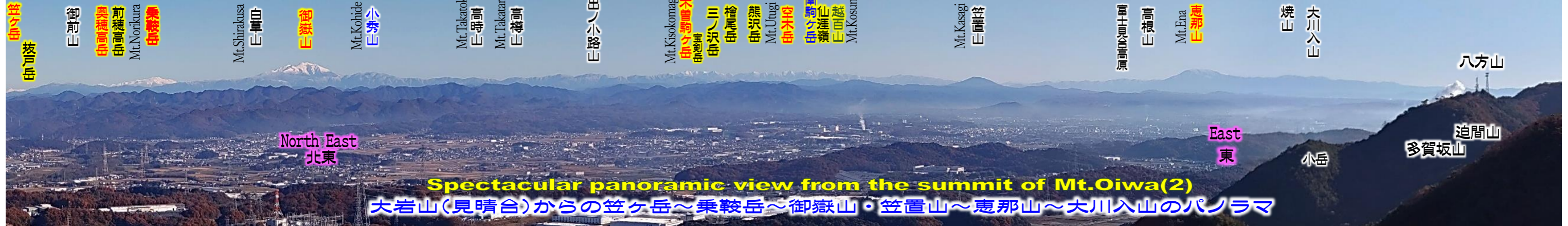


【大岩山(見晴台)1】



Spectacular panoramic view from the summit of Mt.Oiwa(1)  
大岩山(見晴台)からの雷倉～能郷白山～高賀山～黒部五郎岳のパノラマ

【大岩山(見晴台)2】



Spectacular panoramic view from the summit of Mt.Oiwa(2)  
大岩山(見晴台)からの笠ヶ岳～乗鞍岳～御嶽山・笠置山～恵那山～大川入山のパノラマ



【金山】



panoramic view from the summit of Mt.Kanayama  
金山 迫間反射板越しの黒部五郎岳～乗鞍岳・御嶽山～中央アルプスのパノラマ

**Seki Minami Alps 15 mountains 関南アルプス**

鈴鹿&養老山脈・伊吹山・能郷白山・北アルプス・中央アルプス・南アルプス・恵那山  
名古屋ビル群・小牧山城・犬山城・138タワー・金華山(岐阜城)が見える山

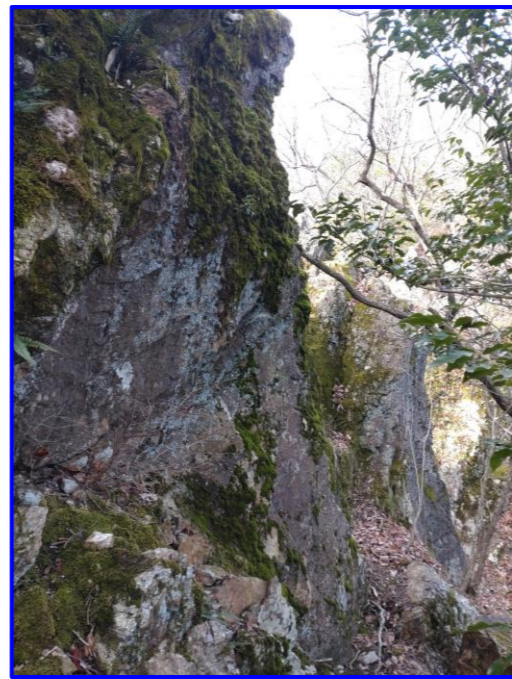
須衛山 向山 岩坂山 金山 小太山 大岩山 多賀坂山 金毘羅山 最高峰 明王山 機子山 八方山 迫間山 薬師前山 大日向山 太平山

※金毘羅山から迫間不動尊に下る途中の「不動の展望台」からも明王山と、ほぼ同じパノラマが拡がり、楽しめます。



ピース

夫婦岩



不動大岩



断層割岩



のべぶり岩



多賀坂峠の「峠の井戸」



お立ち岩(山伏)



コープ岩から能郷白山方面の眺め



コープ岩の上



コープ岩下の鏡岩



極楽茶屋 営業時間：09:00～15:00



はさま農産物直売所

営業時間：09:00～15:00

- 関市以外の主な駐車場のマップコード  
(各務原市)
- 各務野自然遺産の森駐車場：70 337 032\*20
  - 天狗谷遺跡駐車場：70 344 545\*64
  - 寒洞池駐車場：70 305 821\*40
  - 各務原公園第二駐車場：70 307 614\*40
  - 三ツ池公園駐車場：70 361 532\*47
- (坂祝町)
- 猿啄城展望台第1駐車場：70 311 667\*35
  - 猿啄城展望台第2駐車場：70 311 647\*27



正溪寺のハナモモ



正溪寺のヤエベニシダレ



関山岳会 HP  
関山岳会



関トレLINE オープンチャット  
会員募集

「関市の山」のマップ情報、関市民トレッキング教室案内、関山岳会の活動報告などをLINE オープンチャットにて発信します。現在、関山岳会では、会員を募集しております。LINE オープンチャットからも入会受付。

【新しく付けられた山名の由来】

- 大平山の由来:** 岩坂峠に昔、大平山薬師寺という寺があり、この山および岩場を修行の場としていて、その後、石投げ塚へ移転。
- 多賀坂山の由来:** 多賀坂峠から、すぐ上の山として多賀坂山という名前が付けられ、直下に銀・マンガン鉱の採掘跡が残っています。
- 小太山の由来:** 昔から、関側のこの地域を「小太」と言っていた所から付けられました。
- 大日向山の由来:** 大岩不動明王の修行場で最初に日の出を拝む場所として「おおひなた」でなく「おおひおも」として名が残ります。
- 薬師前山の由来:** 昔、薬師寺が岩坂峠から「石投げ塚」に移転した時に、上の山を「薬師山」、更に上の山を「薬師前山」としました。
- 八方山の由来:** 八方不動明王の八方睨みの山として付けられました。(現在は、山頂に中濃テレビ中継局があります。)
- 機子山の由来:** 八合目中腹(峠一カキ側)にある機子岩の岩穴で貧しい家の娘が機を織ったという伝説から付けられました。
- 大岩山の由来:** 大岩不動明王の上にあり、見晴台として親しまれておりました山を「大岩山」として新しく山名を付けました。

【従来からある山名の由来】

- 向山の由来:** 昔、城(峯)があったことから、城ヶ峠と呼ばれていましたが須衛集落の裏山(稲田山)の奥にある山として向山になったと思われます。
- 須衛山の由来:** 四等三角点名から採用。(元の各務原市須衛町は、古墳時代から鎌倉時代、須恵器生産が盛んで、窯跡(天狗谷遺跡)の「須恵」から付けられた)
- 岩坂山の由来:** 岩坂峠から名前が付けられました。(ベンチの所は標高241mで、最高点P243は西への登山道沿いです。)
- 金山の由来:** 昔は雨乞山と呼ばれましたが金気水(かなけみず)の湧水が由来の三等三角点「金山」から付けられました。
- 迫間山の由来:** 迫間不動尊の山号(寺名の前に付ける冠)であり、かつては迫間城がありました。
- 金毘羅山の由来:** 迫間不動尊の本地物、不動明王の化身とされる金毘羅大権現を山頂最高点の南側に祀ったことにあります。
- 明王山の由来:** 迫間不動尊の修験の山として本地仏である不動明王から付けられた山です。

信長の時代に「のべぶり岩」からの情報を中継していた迫間の山域は、現在でも明王山の国土交通省「迫間中継所」、八方山の「中濃テレビ中継局」や岐阜県防災無線「迫間中継所」、八方坂峠の「関市地域防災無線 迫間中継局」として活用されています。  
迫間不動尊：平安時代の弘仁14年(823)に全国各地を遍路の円珍が夢で神仏のお告げにより迫間山の山腹に開山し、その後、信仰が薄れましたが延喜12年(912)に再興し、改めて本尊を迎え、延宝8年(1680年)9月には、伊勢から天照大神の分神を勧請して下迫間区に神明神社を建立し、その奥之院として「奥之院迫間岩谷不動尊」に改称。明治初頭の神仏分離令により仏教信仰となりましたが、江戸時代までの神仏習合が色濃く継承され、鳥居や祠、奥之院では鏡が祀られているなど神社の要素と寺院の要素が混在しています。